オオトラツグミ

【県内生息地】奄美大島（地域を定めず指定）
【種　　別】国指定天然記念物
【指定年月日】昭和 46 年５月 19 日

全長約 30cm の全身に黒い鱗模様のある黄褐色の鳥で，日本産ツグミ科の中では最も大きい。

トラツグミの１亜種で，留鳥として奄美大島だけに生息している。推定生息数は 100 ～ 200 羽といわれ，絶滅が危惧されている。

原生的な照葉樹林に局地的に生息し，日の出前の薄暗いうちからさかんにさえずる。地上でミミズや昆虫類を採餌していると思われるが，生態についてはよく分かっていない。

県本土に生息する亜種トラツグミによく似ているが，尾羽の枚数やさえずりの違いなどから，オオトラツグミを独立種とする説もある。